



日本筆記具工業会

〒116-0013
東京都荒川区西日暮里2-30-6
TEL03-3891-6161 FAX03-3892-9692
発行：日本筆記具工業会 調査研究広報委員会
URL <http://www.jwima.org>

第12回 通常総会 数原会長から西村会長へ

本工業会は5月20日、上野精養軒にて「第12回通常総会」を開催しました。役員任期満了に伴う改選の結果、第七代会長に西村貞一筆頭副会長が選任されました。

総会・懇親会での前会長、新会長のご挨拶を紹介します。

＜数原英一郎 前会長＞

2年前に会長を引き受けた時は、大震災、原発事故の直後で、放射能汚染、サプライチェーンの寸断、メイドインジャパン神話の崩壊など、先がみえない時代でした。2008年から2010年にかけては、リーマンショックにはじまり、ドバイショック、欧州の財政危機、大震災、原発事故、超円高という時代でした。それでも無我夢中で仕事をやり、筆記具業界全体で何とか一歩前進できたのはすばらしいことだったと思います。今また、アベノミクスでムードが好転したことは好ましいものの、実態は変わっていません。これから円安の副作用であるコストプッシュインフレや消費税増税などの問題も起こってくるでしょう。私が12年前に初代会長に就任した時に、①筆記具は貿易で稼ぐ、②書くことは教育に深くかかわっており、いいものをつくる責務がある、③新しい付加価値を生み出して世界のリーダーシップを取っていくことが大切だ、という話をしました。12年経ってもこのミッションは変わっていません。新会長のリーダーシップの下に、世界に存在感を示し続けられるよう、みなさんのご協力をお願いいたします。在任中のみなさんのご支援に御礼申し上げます。



＜西村貞一 新会長＞

私も2回目の会長就任となりますが、新任の気持ちで会の発展に尽力したいと思っています。

さて、景気は、上場企業は円安によっていい決算を発表してきています。2、3月頃から高級品が売れるようになり、呉服も100万円以上するものが売れるようになってきたそうです。われわれの商品は店頭での販売が思わしくなく、4月までは前年比90～95%で推移してきました。5月に入って量販店で動き出し、本予算も決まって、9月頃には景気がよくなったと実感できるのではないのでしょうか。あとは成長戦略もありますので、足元はまだ暗いものの、先には明かりが見えているというのが現状です。

筆記具がこれからも発展するためには、内外問わず消費者のニーズをつかみ、それにあった商品を開発することだと思います。そのためには、ISO規格づくりで日本がリーダーシップをとることが必要です。また、TPP問題もあり、知財では中国の模倣問題もありますが、米国を見ると、日本では考えられないような特許もあり、審査の問題もあります。しっかりと目を光らせて、公平な権利確立を目指したいと思っています。微力ですが全力を尽くして、会の発展とみなさん方に役立つ会になるよう努力する所存ですので、皆様のご支援をお願いします。



▲通常総会閉会の辞
小川晃弘副会長



▲ご来賓祝辞
多田俊樹日用品室長



▲乾杯のご発声
中島義雄常任理事



▲懇親会中締め
石川真一副会長

ISOT 2013 知的財産権特別セミナー 開催



本工業会ならびに(一社)全日本文具協会は、ISOT 2013 会期中の6月27日(木)14時から東京ビッグサイト 会議棟 607・608 会議室にて、95名参加のもと知的財産権特別セミナーを開催いたしました。

第一部は、「中国における模倣品被害の実態と効果的対応としての法規運用(提言)」をテーマに調査機関 IP FORWARD グループの総代表として活躍されている分部悠介弁護士(元経済産業省 模倣品対策専門官)

に講師をお願いし、中国における模倣品被害の現状と効果的な法規運用の手法等について詳しく解説をいただきました。

第二部では、国内における特許権に関する係争事例である「サトウの切り餅訴訟」を題材として、水野 清弁(コスモ国際特許事務所所長)と黒川朋也(創英国際特許法律事務所副所長)、秋山守雄(ゼブラ(株)知的財産部担当部長)の3名が模擬裁判形式の討論を行い、権利取得の重要性和権利侵害事件での事前防衛策等について詳しく解説をいただきました。

ISO/TC10/WG18 杭州(中国)会議 出席報告

— (株)サクラクレパス 塩井恵子顧問 —

ISO/TC10/WG18 杭州会議に、三菱鉛筆 小野氏とともに出席致しました。三菱鉛筆からは日中英の3か国語が話せる通訳を用意していただきました。杭州は南宋の時代に都だった大都市で、西湖は風光の美で日本でもよく知られています。しかし、欧州や米国から遠く離れた中国で、しかも鳥インフルエンザが新聞を賑わせていた頃でしたので、出席者が少ないことを心配していました。そこで、中国の筆記具業界の方を筆記具工業会の事務局に紹介していただき、折角の機会なのでISO会議に出席し、日本の委員との意見交換もしましよと呼びかけました。その効果があって、メーカー(BEIFA、白雪文具、中国第一鉛筆等)、標準化機関、および試験室から計7名の方が出席されました。欧米からの出席は結局、事務局のMr. Radheだけでした。

今回は、この数年間メインテーマであった安全キャップの改正の最終処理です。尾栓規格案はすでに廃案となり、キャップのDIS投票は100%賛成という結果で成立は決まったようなものですが、日本2件、フランス1件のコメントが出ており、その解決が必要でした。今までの経緯を知らない中国メンバーからは、尾栓規格はなぜ廃案になったかという質問や、キャップには短いものは免除が必要だという提案が出されました。今日はコメント解決のための会議なので、詳細は中国の代表に聞いてほしいこと、また新たな提案はNWIP(新規活動提案)として提出が必



要なことを説明して了解を得ました。コメント2件は編集上の問題ですぐ解決、残り1件のリングゲージの引用文献はMr. Radheから特に重要でないので削除する提案があり、全員一致で賛成し、これらは最終日の総会でも了承されました。提案者の英国のいない間に日本の思うようになり申し訳ない気もしましたが、これで本部の発行作業のみとなります。

次に日本から、JIS 6013: シャープペンシルの改正活動中で、それが終わり次第、ISO 9177: Mechanical Pencilsは製図用なので、新たに一般用規格を作るNWIPを出す予定であることを述べ、三菱鉛筆 小野氏がその背景やポイントを、PDFファイルを使って説明しました。ISOは英語で会議が運営されるので、資料も小野氏に英語で作っていただきました。ところが説明が始まると、中国メンバーからざわめきが起こります。中国人の出席者の半数以上が英語は読めないというのです。日本人は話せなくても読めるという人が多いので同じだろうと思っていたのが甘かったようです。事務局のMr. Radheも入って日中英の言葉が飛び交い、通訳の方には本当にご苦労をおかけしました。今回は日本の改正活動の紹介だけなので特に審議はなかったのですが、シャープペンシルの性能で何が重要かで意見がいろいろと出て、とても有用な会議になりました。日本の改正案が固まれば中国に知らせる、中国は自国の規格を日本に送るといった情報交換の約束をして、会議を終えました。次回は来年5月ロンドンの予定です。



第5回 JWIMA 技術交流会 開催

2013. 6. 17 柳橋・共和フォーラムにて

世界的に優れた日本の筆記具産業の技術を交流・融合させれば、もっと高度な技術や付加価値の高い製品が生まれてくるだろうと、スタートした技術交流会。今年で第5回目を迎えることとなりました。

オープニングにあたり西村貞一会長から概ね次のような挨拶がありました。

「始まる前に会場を一通り拝見しましたが、出展各社の成型品や部品は、驚くほど微細で高い精度を要するものばかりで、100万個200万個と均一な品質で、しかもコストもできるだけ安くなるようにと作られています。こういうものこそ日本の製造業の根幹をなすべき基礎技術です。

本日は、完成品メーカーもたくさん来場しますので、出展社の皆さんにはしっかりご説明いただき、お互い技術交流することによって、より一層品質向上を図り、かつ安く提供できるよう、海外との競争に打ち勝つようにしていただきたい。

アベノミクスで景気は良い方向に向かっているようですが、主役は我々民間企業にあるという認識のもと、物作りの先端を行くように頑張りたい。そして、この交流会をきっかけに主役の座を確かなものにしていただきたい。」

【2013 JWIMA 技術交流会 出展企業】

- ①岩崎金属工業(株)、②(株)大平、③オーバクス(株)、④オリエンタル産業(株)、⑤北星鉛筆(株)、⑥(有)城南精機製作所、⑦(株)千年、⑧司フェ



ルト商事(株)、⑨テイボー(株)、⑩東京金属工業(株)、⑪東洋繊維化工(株)、⑫(株)日本万年筆製造所、⑬(株)パイオニア、⑭ヒノデワシ(株)、⑮(株)守屋彫刻工芸

計 15 社

【来場者数】

見学者	105名(17社)
出展社	53名(15社)
招待者	20名(11社)
スタッフ	11名
業界紙	8名
計	197名



【 iPad mini 当選者 喜びのコメント 】 …… 第5回記念 来場者プレゼント



■ (株)スガタ 商品開発部 山崎 由香 さん

この度は、棚からぼたもちで光栄にも iPad mini の当選！！
 素敵なプレゼントをどうもありがとうございました。
 日頃からクジ運がないので、まさかの出来事に動揺を隠しきれず、
 思わず雄叫びをあげてしまったほどです。宝の持ち腐れにならない
 よう、プライベートとしてももちろんのこと、仕事でも大いに活か
 せればと思い、ただ今アナログ頭をデジタル頭に切替え中です。今
 年は良いことがありそうな予感がします♪

■ 三菱鉛筆(株) 横浜研究開発センター 澤 幸儀 さん

当日は各種メーカーさんの得意な技術をお聞きすることが出来、
 とても有意義な時間を過ごさせて頂きました。また来場プレゼント
 の iPad mini の当選、誠にありがとうございます。単身赴任をし
 ておりますので、頂いた iPad mini と iPhone で、早速私にソッ
 クリでかわいい娘達とのテレビ電話を楽しみました。これからまた
 違った使い方も楽しんでいこうと思います。



お知らせ

- JIS S 6055 (事務用修正液) 改訂版発行
 JIS S 6055 (事務用修正液) が改正され、
 新たに 2013 年版が 2 月 20 日に発行となり
 ました。
 工業会を通じて購入すれば 10%引きとな
 りますので、どうぞご利用下さい。
- 現在、総務委員会では今年の秋冬にかけての工
 業会行事を企画検討しています。まだ、具体
 的に案内できる段階まで煮詰まっていませんが、
 おおよそ次のような日程で開催する予定です。
 (企画が具体化したものからご案内させていた
 だきます) ご期待ください。
- 9 月 26 日 第 10 回会員親睦ゴルフコンペ
 (八千代市・中山カントリークラブにて)
- 10 月 22 日 会員研修会
 (柳橋・ベルモントホテルにて)
- 11 月 12 日 優良工場見学会
 (横須賀市・海洋研究開発機構 他)
- 12 月 18 日 年末講演会・懇親会
 (上野精養軒にて)
- JWIMA ホームページにある「お役立ち情報/
 シャープペンシル」編の内容が追加・修正さ
 れリニューアルしましたので、ご確認ください。
<http://www.jwima.org/sharp-pencil/00-1sharp-pencil/00-1sharp-pencil.html>
- ライン用マーキングペンの業界基準 完成
 マーキングペン部会で作成作業を進めてい
 た「ライン用マーキングペン」の業界基準が
 完成しました。近々、JWIMA ホームページで
 も公開しますのでご確認ください。
- 重金属分析試験割引制度を再開しました。
 (一財)日本文化用品安全試験所での重金属
 分析試験について、JWIMA 会員特典として料
 金を 10%割引する契約を再開しましたので
 お知らせいたします。この割引制度は、新・
 旧 EN71-3 の分析試験に適用されます。
 分析試験依頼時に JWIMA 会員であることを
 文化用品安全試験所へ申し出てください。
 試験費用の請求は、まず JWIMA に来て、
 JWIMA から会員企業に再請求することにな
 ります。(JWIMA にも 5%手数料が入る。)

欧州安全規制への対応勉強会 報告

2013. 7.24 TUV ラインランド・ジャパンによる勉強会 開催

7月24日 東京文具工業健保会館にて、本工業会の製品安全小委員会主催による「欧州における子供向け筆記具に対する要求事項」勉強会を開催しました。

欧州では改正されたEN71-3がこの7月20日より施行となりましたので、少しでもまとまった情報を得ようとドイツの試験分析機関であるTUV（テュフ）ラインランド・ジャパン(株)に講師の派遣を要請し、欧州における子供向け製品への対応状況についてお話をうかがいました。

さすがにこの時期関心が高かったのか、参加者は42名（14社）となりました。



▲TUV ラインランド・ジャパン 男澤英貴 氏

内容構成は、次のようなものでした。

1. テュフ・ラインランド グループの紹介
2. 玩具安全指令について
 - ・製品安全コンセプト
 - ・EU ガイダンス ドキュメント
 - ・製造者及び輸入業者の義務
 - ・安全評価
 - ・予測可能な使用に対するリスク評価
3. 質疑応答

欧州で製品安全のもとになるのが「一般安全指令（GPSD）」という規格で、これに準拠していないものは欧州委員会がその販売を禁止し、顧客からのリコール及び市場からの撤退を命じるこ

とができます。玩具安全指令（EN71シリーズ）もこのGPSDの下層規格に位置します。

そして、危険な製品から消費者を守るしくみとして「RAPEX」という危険製品の開示、警告を発するシステムがあり、食品や薬品、医療装置を除く一般消費製品に対して常に試買品テストを実施して毎週金曜日に報告が公表されています。

筆記具、文房具のリコール例もありますが、今のところ日本製品では出ていません。（中国製品あるいは生産国不明が多い。）

CEマークを必要としない筆記具・文具類についても、PEACH・CLP規則など様々な規制や基準が関わってくるので、製品安全情報には常に注意を払っていく所存です。



平成25年第1・2四半期委員会・部会活動

<総務関係>

- 3.12 総務委員会（平成24年度第4回）
 ・H24年度決算見通しとH25年度予算案について
 ・次期役員選出案について
 ・2013 JWIMA 技術交流会の開催について
- 4.3 総務委員会（平成25年度第1回）
 ・H24年度事業報告書（案）ならびに収支決算書（案）について
 ・H25年度事業計画（案）及び収支予算（案）について
 ・役員任期満了改選の件について
 ・H25年度第1回理事会開催について
 ・第12回通常総会について
- 6.10 書育推進協議会 運営委員会
 ・H24年度事業報告及び決算見通しについて
 ・H25年度事業計画及び収支予算について
 ・役員任期満了改選について
 ・第4回通常総会運営について
- 7.9 総務委員会（平成25年度第2回）
 ・秋～年末の行事計画について
 ・その他
- 7.26 書育推進協議会 運営委員会
 ・第4回通常総会運営について
 ・H25年度事業計画と予算案について
 ・その他（書育フォーラム2013について）

<調査研究・広報関係>

- 1.17 調査研究・広報委員会（平成24年度第6回）
 ・2013 JWIMA 技術交流会 企画案について
- 3.13 調査研究・広報委員会（平成24年度第7回）
 ・2013 JWIMA 技術交流会について
 ・その他
- 5.30 調査研究・広報委員会（平成25年度第1回）
 ・2013 JWIMA 技術交流会の運営について
 ・JWIMA ホームページの見直しについて
- 7.16 調査研究・広報委員会（平成25年度第2回）
 ・2013 JWIMA 技術交流会の反省について

<流通関係>

- 2.22 お客様相談窓口連絡会（平成24年度第6回）
 ・各社のお客様対応事例について
 ・お役立ち情報（シャープペンシル編）の見直しについて
- 4.25 お客様相談窓口連絡会（平成25年度第1回）
 ・各社のお客様対応事例について
 ・H25年度活動テーマについて

- 6.20 お客様相談窓口連絡会（平成25年度第2回）
 ・各社のお客様対応事例について
 ・「消し具」お役立ち情報について

<技術国際関係>

- 1.22 シャープペンシル部会（平成24年度第3回）
 ・JIS S 6013（シャープペンシル）の改正について
 ・ISO 9177-1, -2, -3 に対する改正提案の検討
- 1.23 マーキングペン部会（平成24年度第3回）
 ・ISO/DIS 11540（安全キャップ）への投票について
 ・筆ペンの業界基準作成について
- 2.21 製品安全小委員会（平成24年度第4回）
 ・EWIMA 技術委員会（1/27）の報告について
 ・安全関連情報について（配布資料の説明）
 ・筆記具安全基準について
 ・最近の話題
- 3.8 事務用修正液部会（平成24年度第1回）
 ・JIS S 6055：2013 解説について
 ・修正テープ規格化の検討
- 3.14 シャープペンシル部会（平成24年度第4回）
 ・JIS S 6013：2009（シャープペンシル）の改正について
 ・ISO 9177-1, -2, -3 に対する改正提案の検討
- 3.18 技術国際委員会（平成24年度第2回）
 ・H24年度下期各部会活動報告ならびにH25年度活動計画について
 ・国際標準提案活動 報告について
- 4.18 マーキングペン部会（平成25年度第1回）
 ・JIS S 6037（マーキングペン）の見直しについて
 ・筆ペンの業界基準作成について
- 4.22 シャープペンシル部会（平成25年度第1回）
 ・JIS S 6013：2009（シャープペンシル）の改正について
 ・ISO 9177-1, -2, -3 に対する改正提案の検討
- 5.28 製品安全小委員会（平成25年度第1回）
 ・ISO/TC10 総会ならびに WG18 meeting in 杭州出張報告
 ・安全関連情報について
 ・筆記具の安全基準について
- 6.21 事務用修正液部会（平成25年度第1回）
 ・修正テープ業界基準化の検討

<全文協との共催関係>

- 2.7 知財リーダー会議
 3.7 合同知的財産部会
 5.28 知的財産権特別セミナー打合せ
 6.19 知的財産権特別セミナー打合せ
 6.26 合同知的財産部会
 6.27 知的財産権特別セミナー

以上

2012年の出荷・輸入・輸出 =年間=

繊維・生活用品統計(旧雑貨統計)より (国内向け販売と輸出向け販売を含む)

金額:百万円

出荷	単位	2012年間		2011年間		前年変動率 (%)	
		数量	金額	数量	金額	数量	金額
ボールペン(油性)	千本	402,827	24,023	456,645	26,634	-11.8	-9.8
ボールペン(水性)	千本	1,029,607	36,215	938,702	33,862	9.7	6.9
マーキングペン	千本	723,513	33,578	721,192	33,684	0.3	-0.3
シャープペンシル	千本	145,823	14,342	153,934	14,399	-5.3	-0.4
鉛筆	G	1,597,672	5,516	1,636,715	5,647	-2.4	-2.3
シャープしん	千本	2,818,774	3,988	3,251,715	4,327	-13.3	-7.8
修正液	千本	28,693	2,224	33,355	2,583	-14.0	-13.9
修正テープ	千個	55,483	4,742	62,072	4,930	-10.6	-3.8
クレヨン・パス・水彩絵の具	千本	127,863	3,719	129,768	3,828	-5.2	-1.0
			128,347		129,894		-1.1

日本貿易統計より(抜粋)

輸出	単位	2012年間		2011年間		前年変動率 (%)	
		数量	金額	数量	金額	数量	金額
ボールペン(油性)	千本	162,794	6,072	188,642	6,537	-13.7	-7.1
ボールペン(水性)	千本	708,399	29,039	662,051	26,434	7.0	9.9
マーキングペン	千本	324,592	12,849	359,395	14,151	-9.7	-9.2
シャープペンシル	千本	83,375	5,085	93,390	5,709	-10.7	-10.9
万年筆・製図用ペン	千本	6,890	832	8,327	898	-17.3	-7.3
以上のセット品	千個	559	96	979	125	-42.9	-23.2
黒芯鉛筆	Kg	71,174	214	80,787	225	-11.9	-4.9
色芯鉛筆	Kg	64,963	239	59,558	219	9.1	9.1
修正液	千個	19,529	1,344	23,319	1,615	-16.3	-16.8
修正テープ	個	354,283	20	223,750	57	58.3	-64.9
			55,790		55,970		-0.3

日本貿易統計より(抜粋)

輸入	単位	2012年間		2011年間		前年変動率 (%)	
		数量	金額	数量	金額	数量	金額
ボールペン	千本	224,822	6,046	221,799	5,793	1.4	4.4
マーキングペン	千本	199,303	3,304	184,890	3,062	7.8	7.9
シャープペンシル	千本	40,689	1,318	44,146	1,208	-7.8	9.1
万年筆・製図用ペン	千本	1,516	1,071	1,129	964	34.3	11.1
セット品	千個	1,136	47	960	93	18.3	-49.5
黒芯鉛筆	Kg	705,382	902	701,199	747	0.6	20.7
色芯鉛筆	Kg	1,232,852	1,105	1,415,610	1,108	-12.9	-0.3
修正液	千個	2,286	52	2,387	54	-4.2	-3.7
修正テープ	千個	54,273	1,786	51,513	1,663	5.4	7.4
			15,631		14,692		6.4

2013年上半期(1~6月)出荷速報

出荷	単位	2013年(1~6月)		2012年(1~6月)		前年変動率 (%)	
		数量	金額	数量	金額	数量	金額
ボールペン(油性)	千本	191,924	11,966	200,148	12,256	-4.1	-2.4
ボールペン(水性)	千本	547,382	22,757	534,363	18,641	2.4	22.1
マーキングペン	千本	353,143	16,705	355,504	16,356	-0.7	2.1
シャープペンシル	千本	76,881	7,691	79,457	7,616	-3.2	1.0
鉛筆	G	809,628	2,886	818,310	2,868	-1.1	0.6